

2. 指定校推薦

- ① 大学等からの指定校推薦の依頼は、毎年、夏から秋にかけて連絡があります。一般入試の合格数や本校卒業生その学校での成績等により、追加されたり、削減されたりするので、9月上旬の正式発表をみて応募してください。（昨年度の指定校一覧は、この冊子の巻末に掲載されています）
- ② 校内選考は、大学側から提示された「評定平均」や「高校での履修科目要件」「欠席日数」などを満たしており、その学校を第一希望とする者で、適切と判断された生徒を推薦します。選考は、1年から3年1学期までの評定平均や学校生活全般を総合的に考慮して、推薦会議で行います。例年第1回目の「指定校推薦希望申し込み」と「校内選考のための推薦会議」は、9月中旬に行われます。

【日程の概要】

7月下旬	推薦依頼校の中間発表（夏休み中に、依頼してくる大学もあります）
9月初旬	推薦依頼校の正式発表
9月中旬	指定校推薦希望者 校内申込の受付 第1回目の校内選考
10月上旬	第1回目の選考で希望者のなかった学校の追加申し込み受付・校内選考

3. 公募制推薦

- ① 調査書に「1」がなく、大学等からの出願条件を満たしていれば、原則として推薦します。ただし、一校からの出願人数が定められている場合で、希望者がこれを超えている場合は、指定校推薦に準じて校内選考を行います。
- ② 書類審査・小論文・面接が主流だが、小論文には様々な形式があり、英語の読解や数学・理科の問題など、学科試験といえる内容のものもあります。また、「適性検査」「基礎学力テスト」といった名称で実質、学科試験を課す大学もあります。

国立大学	公募制でかつ評定の基準が高い大学が多い。センター試験受験が必要な大学と不要な大学がある。専願のみ。センター不要は高倍率。
公立大学	国立と似ているが、同じ都道府県内からしか出願できない大学が比較的多い。専願のみ。国立大学とほぼ同様。
私立大学	評定などの条件をクリアすれば、どの高校からでも出願できる。併願可もある。

4. AO入試・自己推薦

AO入試	本来は、模擬授業やレポートなど長期の活動を通して合格者を決めるものであったが、公募推薦や自己推薦とかわらないところが多い。実施時期も早いところは夏休み頃から実施しているところもあるので、各大学の状況を個別に調べる必要がある。
自己推薦	公募と似ているが、校内選考なく出願できる。自己推薦書が重要視され、専願が多い。